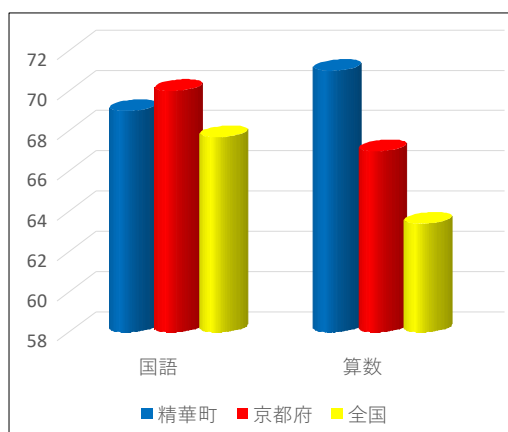


令和6年度全国学力・学習状況調査

全体正答率の比較

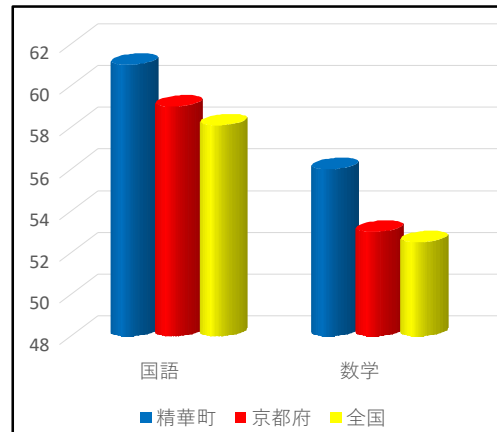
小学校6年生

	国語	算数
精華町	69	71
京都府(公立)	70	67
全国(公立)	67.7	63.4



中学校3年生

	国語	数学
精華町	61	56
京都府(公立)	59	53
全国(公立)	58.1	52.5



学習内容別の結果

小学校6年生

国語	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
精華町	61.4	67.9	70.5
京都府	61.8	69.2	73.2
全国	59.8	68.4	70.7

算数	数と計算	図形	変化と関係	データの活用
精華町	74.1	73.4	59.2	68.7
京都府	70.1	68.9	55.7	64.4
全国	66	66.3	51.7	61.8

中学校3年生

国語	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
精華町	63.5	65	50.8
京都府	59.8	67.5	49
全国	58.8	65.3	47.9

数学	数と計算	図形	変化と関係	データの活用
精華町	54.6	45.6	63	58
京都府	49.9	40.3	61	56.5
全国	51.1	40.3	60.7	55.5

問題形式の結果

小学校6年生

国語	選択式	短答式	記述式
精華町	71.4	63.9	63.3
京都府	71.5	62.3	67.9
全国	69.9	59.7	64.6

算数	選択式	短答式	記述式
精華町	83	70.6	56.4
京都府	78.6	65.6	54.4
全国	75.3	62	51

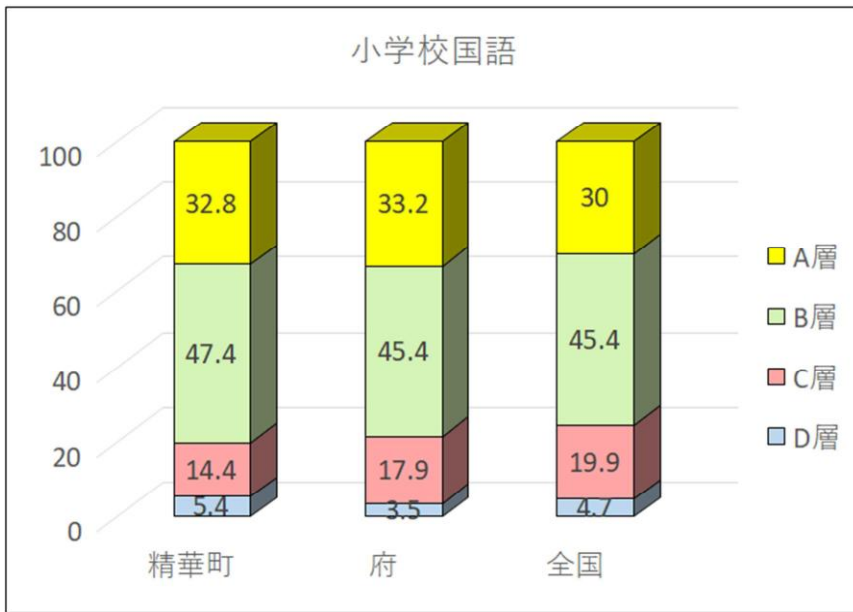
中学校3年生

国語	選択式	短答式	記述式
精華町	63.2	64.5	48.9
京都府	61.8	62.4	48.5
全国	61	61.8	45.5

数学	選択式	短答式	記述式
精華町	61.5	69.8	33.5
京都府	58.3	67.1	29.3
全国	58.5	67	29.3

令和6年度全国学力・学習状況調査結果より

【小学校国語】

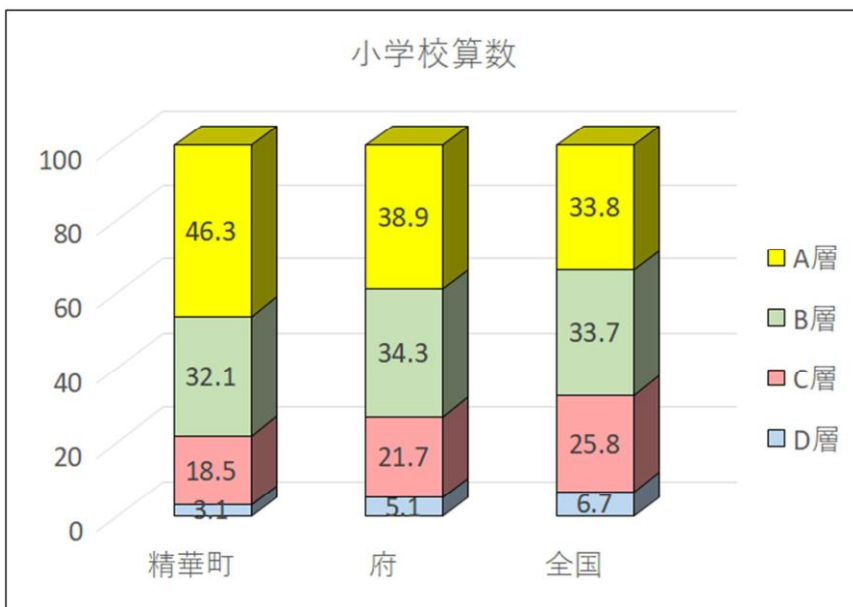


【国語】

- ・府や全国平均と比較して、D層の割合が高い。
- ・C+D層は全体の19.8%で、全体の約5分の1の児童が学習内容の未定着・学びの困難さを抱えている状況である。

※府…21.4% 全国…24.6%

【小学校算数】



【算数】

- ・府や全国と比較して、C・D層の割合が低い。合わせると21.6%で全体の約5分の1となり、国語とほぼ同様の割合である。

※府…26.8% 全国…32.5%

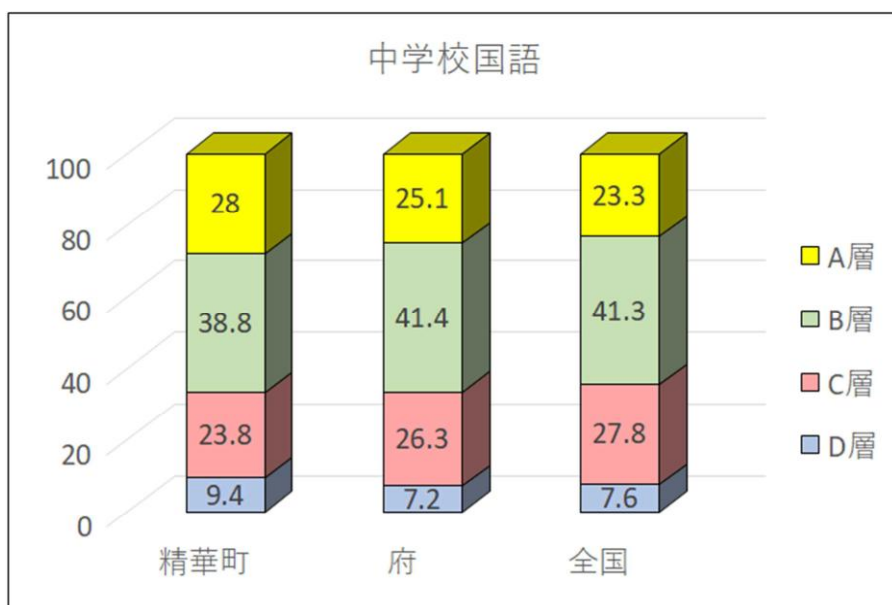
【今後の手だて】

- ・児童質問紙と平均正答率とのクロス集計の結果から、「学びの自己調整」・「協働的な学び」・「アウトプット」が今後の授業改善のキーワードとなることが分かった。



- ・本町ではICTプログラミング推進委員会を中心として、「資質能力の育成を目指した授業改善」をテーマに取り組を進めている。今回の学力テストの結果を踏まえ、上記の3つのキーワードをもとに更なる授業改善を進めていきたい。

【中学校国語】



【国語】

- ・府や全国平均と比較して、D層の割合が高い。
- ・C+D層は全体の33.2%で、全体の約3分の1の児童が学習内容の未定着・学びの困難さを抱えている状況である。
※小学校の約1.5倍

【中学校数学】



【数学】

- ・府や全国と比較して、C・D層の割合が低い。合わせると43.5%で全体の約5分の2となり、国語に比べて困難さを抱える生徒の割合が多い。
※小学校の約2倍
※府や全国と比べると、10%ほど少ない。

【今後の手だて】

- ・全体の30～40%が学習に困難さを抱えている状況であることを踏まえ、従来の教師主導型の一斉授業から、個別最適・協働的な学びの視点からの授業改善が急務である。



- ・特に中学校では質の高い「アウトプット」を軸に、「学びの自己調整」と「協働的な学び」を授業改善に取り入れていくという方向性で進めていくことが効果的ではないかと考える。